

2015 年度受賞研究の概要

理工学部機械工学科 御法川 学

受賞

日本機械学会環境工学部門研究業績賞

「高流速に伴い発生する合流配管における流動励起振動に関する一連の研究」

受賞日：2015 年 7 月 8 日 第 25 回環境工学総合シンポジウム 2015

対象となった研究の概要：

受賞対象になった「高流速に伴い発生する合流配管における流動励起振動」に関する一連の研究は、石油化学プラントの複雑な配管系を最適に設計して施工するために有効に利用される成果を導出したものです。プラント配管系の最適性と安全性は、プラントの環境リスクの低減とともにエネルギーの安定供給にも波及し、環境工学全体に貢献するものであり、研究業績を讃えるに値すると評価されました。また当職は、法政大学在学中から、継続的に流体騒音、特に送風機騒音の低減に関する研究を続けており、その成果は静粛環境の実現に利用されており、さらに情報機器の冷却に不可欠になっているマイクロファンの騒音評価方法の国際的な規格作成にも関与し、情報機器の環境適合性の向上に貢献してきました。これらの研究業績に対して贈賞することで、これからの環境工学分野への貢献をさらに期待できると判断され、受賞に至りました。

以上